

試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：レモン新品種「璃 ^り の ^か 香」の品種特性			
〔要約〕平成 27 年 3 月に品種登録されたレモン新品種「璃の香」は、露地のレモン栽培で問題となるかいよう病の発生がみられない。また、従来のレモン品種より大果で果汁歩合も高く、酸味はやや少ない。			
キーワード [°] レモン、新品種、「璃の香」、果実特性、かいよう病			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 協力機関 (研) 農研機構果樹茶業研究部門		
実施期間	2008 年度～2018 年度		

〔目的及び背景〕

南房総地域ではレモンが 6 ha 程度栽培されており、南房総産レモンを使用したワイン、菓子類など様々な加工品が作られている。また、直売所や大手量販店などで青果の取り扱いもあり、栽培面積は拡大傾向である。

(研) 農研機構果樹茶業研究部門で育成された「璃の香」は現地で問題となっているかいよう病に対して抵抗性のあるレモン新品種とされており、本地域で栽培した際の樹体や果実の特性を調査した。

〔成果内容〕

1 来歴

「璃の香」は、平成 3 年に農林水産省果樹試験場（現 (研) 農研機構果樹茶業研究部門）で「リスボン」を母親とし、「ヒュウガナツ」を交配した交雑実生で、平成 27 年 3 月に品種登録された。

2 樹体特性

「璃の香」の樹高、平均樹冠径、樹の大きさ及び幹周は「リスボン」より小さい（表 1）。枝の性質は直立性で、樹勢は中程度で、枝の粗密は粗い（表 2）。枝梢の刺は少なく、長さは短い。レモン栽培で問題となる枝や葉のかいよう病やそうか病の発生はみられない。

3 発芽期及び開花期

「璃の香」の発芽期及び開花期は、「リスボン」及び「クックユーレカ」と同時期である（表 3）。

4 収量

「璃の香」の平成 28 年度における階級別収量は一果重が 140g 以上の 2L 級果及び 170g 以上の 3L 級果が 82%、「リスボン」は 76%であり、平成 30 年では、「璃の香」は 98%、「リスボン」は 16%で大果傾向である（表 4）。

5 果実品質

「璃の香」の果実重は163.8～286.6gと大果で、果汁歩合は28.7～36.9%と高く、種子数は少ない（表5）。着色歩合は同時期の「リスボン」及び「クックユーレカ」と同程度で、酸度は「リスボン」及び「クックユーレカ」より低い。また、果実にかいよう病はみられなかった。

[留意事項]

一果重が大きく、豊産性のため、着果数が多い枝については枝吊りが必要である。

[普及対象地域]

安房地域

[普及状況]

安房地域において「璃の香」の苗木が導入されている。

[成果の概要]

表1 「璃の香」及び「リスボン」の生育状況(平成31年1月)

品種	樹数	樹高 (m)	平均樹冠径 (m)	樹の大きさ (m ³)	幹周 (cm)
璃の香	2	3.38	3.35	26.7	27.3
リスボン	2	4.18	4.15	50.4	33.5

注1) 「リスボン」は、平成22年3月に4年生の苗を定植した 令和元年現在、樹齢は13年生
「璃の香」は、平成22年に3年生の苗を定植した 令和元年現在、樹齢は12年生

- 肥料は、県のレモンの標準技術体系に準じ年間10a当たり成分量で窒素30kg、りん酸25kg及び加里25kgを施用した
- 枯れ枝や日陰部分になり弱った枝に対しての軽い間引きせん定を主体に行った
- 千葉県農作物病害虫雑草防除指針の中・晩生かんきつ類に準じて春～夏にかけて、かいよう病、そうか病、ダニ類等主要な病害虫の防除を行った
- 平均樹冠径は東西径と南北径の平均値とした
- 樹の大きさは、樹高×東西径×南北径×0.7で算出した
- 幹周は接ぎ木部から10cm上部を測定した

表2 「璃の香」、「リスボン」及び「クックユーレカ」の樹体特性(平成31年2月)

品種	樹数	枝の性質	樹勢	枝の粗密	枝梢の刺		かいよう病 枝・葉	そうか病 枝・葉
					多少	長さ		
璃の香	2	直立	中	粗	少	短	無	無
リスボン	2	直立	強	粗	多	中	中	無
クックユーレカ	3	開帳	やや弱	粗	中	短	中	無

- 枝の性質：直立、中、開張、下垂
- 樹勢：甚強、強、やや強、中、やや弱、弱
- 枝の粗密：粗、中、密
- 枝梢の刺の多少：無、少、多
- 枝梢の刺の長さ：短（1cm未満）、中（1～2cm）、長（2cm以上）
- かいよう病、そうか病：無、軽、中、甚

表3 「璃の香」、リスボン」及び「クックユーレカ」の発芽期及び開花期（平成27～31年）

品種	樹数	発芽期 (月.日)	開花期 (月.日)		
			始め	盛期	終わり
璃の香	2	4. 4	5. 7	5.15	5.20
リスボン	2	4. 5	5.10	5.17	5.22
クックユーレカ	3	4. 6	5. 4	5.17	5.22

- 注1) 発芽期：芽の過半数が3mm以上になったとき
 2) 開花始め：連続して開花し始めたとき
 3) 開花盛期：80%の花が開花したとき
 4) 開花終わり：過半数の花が褐変又は落花したとき

表4 「璃の香」及び「リスボン」の階級別収量

年度	品種	総収量		一果重 (g)	階級別収量(kg)				
		重量 (kg/樹)	個数 (個/樹)		S	M	L	2L	3L
平成28年	璃の香	20.3	121	166.8	0.2	0.6	2.9	5.4	11.2
	リスボン	20.9	130	161.0	0.0	0.7	4.5	5.4	10.4
平成30年	璃の香	36.2	164	219.3	0.1	0.1	0.6	2.9	32.5
	リスボン	106.9	-	-	63.8	10.0	16.4	12.3	4.5

- 注1) 階級は安房柑橘組合連合会の出荷基準により、M級90g～、L級110g～、
 2L級140g～、3L級170g～とした

表5 平成27年～30年に収穫した「璃の香」、「リスボン」及び「クックユーレカ」の果実品質

年度	調査月日 (月.日)	品種	果実重 (g)	かいよう病 (0～3)	果汁歩合 (%)	種子数 (個/果)	着色歩合 (0～10)	糖度 (Brix%)	酸度 (Wt%)
平成27年	12. 30	璃の香	193.1	0.0	36.9	3.7	-	7.9	5.4
	12. 25	リスボン	152.2	1.8	20.7	26.4	9.2	9.0	8.8
平成29年	12. 20	璃の香	163.8	0.0	36.3	1.0	6.3	8.3	5.4
	12. 20	リスボン	133.3	1.5	23.7	24.1	5.6	7.6	7.9
	12. 20	クックユーレカ	164.3	1.3	25.8	19.4	7.1	7.3	7.9
平成30年	10. 19	璃の香	212.3	0.0	29.9	3.4	2.8	7.6	4.2
	10. 11	リスボン	113.9	2.1	21.0	23.5	2.1	8.0	6.3
		クックユーレカ	137.3	1.7	22.7	19.8	2.8	8.0	6.6
	11. 15	璃の香	286.6	0.0	28.7	10.9	3.9	7.7	4.0
		リスボン	138.0	2.1	25.5	19.6	3.4	7.8	6.2
		クックユーレカ	161.4	1.4	26.4	16.7	4.0	7.9	6.3
	12. 13	璃の香	244.3	0.0	32.5	2.7	8.0	7.8	3.8
		リスボン	163.4	1.7	25.6	22.4	7.9	7.7	6.4
	1. 8	璃の香	230.6	0.0	33.6	2.6	9.0	8.0	3.9
リスボン		159.7	1.1	26.8	23.5	9.6	7.9	6.3	

- 注1) かいよう病：0（無）～3（甚）を目視により判定
 2) 果汁歩合：5果分の果汁重÷5果分の果重×100で算出した
 3) 種子数：不完全種子と完全種子を合計した個数
 4) 着色歩合：無（0）～完全着色（10）を目視により判定



写真1 「璃の香」
の樹上果実



写真2 「璃の香」の果実
左上、果実全体、右上：縦断面、
左下：果頂部、下中央：果梗部、
右下：横断面



写真3 「リスボン」
の樹上果実



写真4 「リスボン」の果実
左上、果実全体、右上：縦断面、
左下：果頂部、下中央：果梗部、
右下：横断面



写真5 「クックユーレカ」
の樹上果実



写真6 「クックユーレカ」の果実
左上、果実全体、右上：縦断面、
左下：果頂部、下中央：果梗部、
右下：横断面

[発表及び関連文献]

[その他]